



都筑区地域福祉保健計画 区計画における取組について

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部縮小や一時休止などの影響を受けた事業(取組)がありました。しかしながら、工夫を凝らしつつ予定通りに行われた事業や、状況に応じた必要性から生まれた新たな取組もありましたので、その一部についてご報告します。

身近な地域で出産に向けた準備を～地域における両親教室の展開～

(区計画推進の柱2-2-1：当事者やその家族、多世代の交流を深める取組の推進)

区子ども家庭
支援課

概要

都筑区では妊娠期の取組として、身近な地域の子育て資源の紹介や出産に向けての保健指導を行う両親教室を開催しています。今年度は会場に地域ケアプラザを加え、より参加しやすい環境を整えました。

具体的な取組内容

- 区内6地域ケアプラザで両親教室を開催
- パートナーと一緒に参加しやすいよう、土日や平日夕方などに開催
- 妊娠期の過ごし方や安全な出産に向けての保健指導、子どもができることによって生じる夫婦の役割変化についての説明、育児指導(沐浴体験、おむつ交換、抱っこ仕方など)のほか、参加者同士の交流や地域ケアプラザの子育て支援の紹介などを実施



葛が谷地域ケアプラザ



東山田地域ケアプラザ

成果と今後について

参加者の多くは地域ケアプラザの徒歩圏内であり、地域ケアプラザの存在や実施している子育て支援(育児教室、相談会、サロンなど)の啓発につながりました。この取組を進めることで、妊婦が安全安心な妊娠期を過ごし、仲間や身近な子育て資源につながることができ、都筑区では切れない子育て支援の実現を目指しています。

歩いて行ける身近な場所に健康づくり・介護予防の 新たな拠点ができました！「イオげんき会」

(区計画推進の柱2-3-1：地域主体の健康づくりの推進)

区高齢・障害
支援課

概要

港北ニュータウンイオ(マンション)の周辺は公共交通機関が少なく、山坂の多いエリアもあり、歩いて気軽に参加できる拠点が必要とされていました。そのマンション居住者から、身近な場所に健康づくり・介護予防の活動の場が欲しいと相談があり、自治会の協力を得ながらマンションの集会所を会場とした元気づくりステーション(※)を立ち上げました。

具体的な取組内容

- 毎月第3木曜日の10時から12時に開催、参加者は毎回20名程度
- 地域のボランティアによる体操の実施など、様々な企画を組み合わせ開催(笑顔トレーニング講座、栄養講座、体力測定会、交流会等)



成果と今後について

マンションの居住者だけでなく近隣からの参加者も多く、活気あふれる地域の交流の拠点になっています。今後は自主運営での元気づくりステーションに移行できるよう、メンバー同士が協力し合える活動を目指します。

(※)身近な地域で、参加者本人と仲間、そして地域も元気にする自主的なグループ活動のこと

生活困窮者自立支援制度における ネットワークづくりと普及啓発の取組について

区生活支援課

(区計画推進の柱2-2-2：見守り・支え合いのネットワークづくりの推進)

概要

新型コロナの影響により依然として生活にお困りの方が多く状況ですが、関係機関を通じて区役所への相談につながった件数は減少していました。そこで今年度は、区役所と関係機関とのネットワークづくりや幅広い層への制度周知、普及啓発に重点的に取り組みました。

具体的な取組内容とその成果

・関係機関とのネットワークづくり

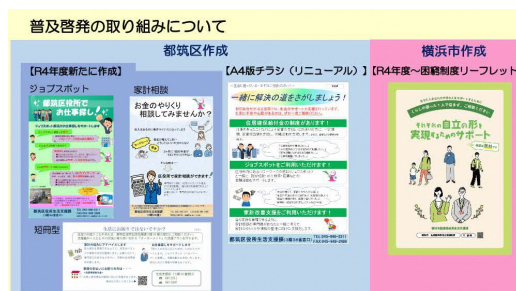
徴収部門である税務課及び保険年金課とともに「滞納者支援連絡会」を立ち上げ、相互理解や共通課題解決に向けた研修の実施、区独自の制度案内チラシの作成と活用等に取り組みました。その結果、年度当初0件だった2課からのつなぎ件数は、徐々に回復しつつあります。

また、こども家庭支援課やアウトリーチ事業者(※)、つづきMYプラザなどの関係機関と、新たにネットワークを構築し、令和3年度まで11機関だった生活困窮者支援に関わる機関数は、11月末現在で19機関に拡大しました。

・幅広い層への制度周知と普及啓発

新たに作成したジョブスポットや家計相談の案内チラシを掲載した記事を月2～3回、区ツイッターに投稿しています。また、制度案内の動画を作成し、多くの方が来庁される2階フロアの3か所のモニターで放映しています。

(※)支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し、積極的に働きかけて情報・支援を届ける役割を担う支援機関



食支援を通じた地域の見守り・支え合いネットワークづくり

区社会
福祉協議会

(区計画推進の柱2-2-2：見守り・支え合いのネットワークづくりの推進)

概要

生活に課題を抱え、食べることに困っている子育て世帯に向けた食のお渡し会を開催し、民生委員や主任児童委員等の身近な地域の人と知り合うきっかけの場とし、顔の見える関係づくりを推進しました。

具体的な取組内容

- ・かけはし都筑において今年11月、18歳以下の子どもがいる食にお困りの世帯を対象とした「食のお渡し会」を実施
- ・お渡しした食品パッケージ…企業や区民からの寄付、区役所・資源循環局のフードドライブの食糧、共同募金を財源に購入したものなど
- ・農家から寄付していただいた野菜や日用品など、必要に応じてお渡し
- ・定員を超える51世帯から申し込みあり

成果

お渡し会では主任児童委員や民生委員にご協力いただき、受け取りに来た方が気軽に相談できる態勢をつくりました。中には、子どもの学校生活のことで主任児童委員に個別に相談された方もおり、「気持ちにゆとりができてとてもうれしい」や「子どもに満足に食べさせてあげられないときがあるので、本当にありがたい」といった声が聞かれました。この取組が「困りごとを抱える世帯」を発見し、課題解決につなげる「きっかけ」や「仕組み」として、より身近な地域の中で展開されていくことを目指しています。

